自主学習のすすめ＜中学校　国語科（例）＞

**１　タイトル**

　　　中学生　　「要約文を書こう　～新聞記事・コラム等を利用して～　」

**２　ねらい**

・文章全体の構成や筆者の主張を手がかりに中心となる語や文を見付け、要約文を書くことができる。

・読み手を意識して要約文を書くことができる。

**３　準備物**

　・新聞記事やコラム、社説等、ノート

**４　活動の流れ・手順**

（１）新聞記事やコラム、社説等を用意する。

　（２）文章を段落に分けて切る。

　（３）段落の構成を考え、まとまりが分かるようにノートに貼る。

　（４）筆者の主張を見付けマーカーを引く。

　（５）各段落の中心となる語や文を見付け、違う色のマーカーで線を引く。

　（６）筆者の主張や中心となる語や文を使って、要約文を書く。

　（７）できた要約文を掲示したり、1分間スピーチの場を設定したりして、友達に伝わるか確かめる。

中心となる語や文

序論

結論

本論

9/16

要約文

〇〇新聞　社説

筆者の主張

**５　備考**

・文章を読み解くに当たって、意味が分からない言葉については、国語辞典やインターネットを利用して調べましょう。

・一人一人が要約したものを集めて掲示したり、１分間スピーチの場を設定したりすると、相手意識

目的意識をもって取り組むことができます。

　・段落構成は、必ずしも三段（序論・本論・結論）とは限りません。起承転結等、いくつか例を示しておくのもよいでしょう。構成を見いだせないものについては、学校で友達や先生と協議するのもよい学習になります。

　・発達の段階や個々の能力に合わせて、文章の長さや段落の複雑さを選ぶことができます。

　・自分で記事やコラムを見付けることが難しい生徒のために、教師が何種類か準備し、選ばせることも有効な手立てです。